

園長だより

NO. 11 R7. 6. 9 (Mon)

先週は、運動会へのご参観、誠にありがとうございました。

ふじ組のオープニングの和太鼓、勇壮でしたね。実は初めて衣装を着て「どこいしょ、どこいしょ」の大きな掛け声も勇しく、懸命にバチを握る姿は、本当に立派でした。

うめもも組さんは入場行進で、前の友達の手操服をちょこんと掴んで歩く姿、愛らしかったですね。小さいながらも集団生活、社会生活の中で頑張っている姿が、たまらなくかわいかったですね。「おうちのひとまでよ〜いどん〜」では、保護者様の胸にとび込んでいくもも組さんの、極上の笑顔がこれ又、かわい過ぎて、私、みていて胸がいっぱいになりました。

さくら組さんの、「やさしいソーラン」では、ちょっぴり拙いながらも鳴子を手で踊る姿からは、園生活一年先輩の誇りが表れていました。ニシンの豊漁を振り覚える事、自分の立ち位置を覚える事、何より願うソーラン節の由来、自分に自信を持って踊る事(表現する事)!!。そのひとつひとつを習得した立派な姿に、「頑張ってるね」、「今の自分いいんだよ」、「そのままいいんだよ」そんな言葉が胸をよぎりました。さくら組さんも立派でしたね。

演奏した時、子ども達がとっても喜んで、ずっと憧れていた和太鼓、いよいよ主役だ!という自信と喜びが表われていて、それだけに、当日の披露を、何より、ふじ組さん自身が楽しみにしていたんですよ。

組体操や他の競技も勿論立派でしたが、ふじ組ラストのリレー、インスタグラムや園長だより No. 5 でもお伝えさせて頂いてきましたが、子ども達の真剣な表情、ご覧頂けましたか!!!

園で回を重ねるごとに、走る表情もどんどん変ってきて、バトンの渡し方、走り方、どうしたらより円滑に出来るか、都度、熟慮し、攻略してきました。1番になってとびよって喜んだり、逆に悔しくて悔しくて堪えきれず泣きながら走ったり。思いきり走るが故に、カーブが曲がりきれず、転倒

実は、こんなことも……。1位になりたくて意欲が溢れ過ぎてトラックをショートカットして友達を抜いてしまった場面も。その時は、先生達も子ども達に呼びかけました。「1位になりた〜い」その気持ちはよく分かる!! 分かるけど、それで1位になって、どうかな? それは本当の1位かな? と……。そして皆で考えました。

して、それでもすぐ立ち上がって走り抜き、バトンを繋いだ後、痛さに涙したり……。友達同士、激励、鼓舞し合ったり、励め合ったり。数々のエピソード経験を重ねての本番。子ども達一人ひとりの表情、走りから、これこそが「結果ではなく過程」であることを物語っていたのではないかと思います。

真剣かつ全集中して走り抜く子ども達を、私は、心から誇りに思いました。

そして皆で考えました。運動会という行事を通して、子ども達がたくさんの心のステップを踏んで、心が大きく成長した事を実感します。そんな姿一つひとつが

運動会での挨拶もお話しさせて頂きました。

全部、今のお子様の成長です。お子様に、「偉いね」、「大好きだよ」、「生まれてきてくれてありがとう」と、ぎゅっと抱き締めて、声を掛けてあげて下さいね。

運動会へのご参加、ご参観、本当にありがとうございました。感想、コメント、是非、お待ちしております。